

平成25年6月25日

平成25年度第2回京都市明るい選挙推進協議会総会（摘録）

1 日 時 平成25年6月25日（火）午後2時から午後4時5分

2 場 所 本能寺文化会館 4階「櫓」

3 出席者

(1) 委員（◎は会長，○は副会長 敬称略）

京都大学名誉教授	◎木下 富雄
立命館大学名誉教授	○村山 皓
ジャーナリスト	木下 明美
株式会社京都放送局報道局長	刀禰 隆司
京都市地域女性連合会常任委員	金井 美佐子
京都伝統産業青年会会長	勝山 龍一
第11回京都学生祭典実行委員会副実行委員長	三浦 直子
京都市選挙管理委員会委員長	國枝 克一郎
〃 委員長職務代理者	宇都宮 壮一
中京区選挙管理委員会委員長	小槻 晴明
東山区選挙管理委員会委員長	寺本 隆

(2) 事務局

京都市選挙管理委員会事務局長	藤井 宏一郎
〃 次長	百田 雅一
〃 選挙課担当課長	田中 稔彦
〃 選挙課啓発係長	井上 俊彦
〃 選挙課書記	向出 望美

4 摘録

○会長挨拶

○副会長の指名について

京都市明るい選挙推進協議会設置要綱第5条第2項の規定により、木下会長より引き続き京都新聞社からの推薦委員である山中英之委員を指名。全委員の了承。

○協議

参議院議員通常選挙及び京都市議会議員中京区選挙区補欠選挙に係る選挙時啓発計画について

事務局：「参議院議員通常選挙及び京都市議会議員中京区選挙区補欠選挙に係る選挙時啓発計画（案）」「リーフレット（選挙のお知らせ）」「各区におけ

る街頭啓発計画（案）」資料に基づき説明。

委員：各区の選挙時啓発の時間はどうなっているのか。

事務局：区によって異なるが、例えば商店街であれば買い物客が増える時間帯など、より効果的な時間に行う。

委員：期日前投票が増えてきているようだが。

事務局：投票者数の1割程度である

委員：サラリーマンなどには期日前投票ができるとありがたい。駅のターミナルなど、投票場所を増やして、時間帯をもう少し広げてもらえたら投票率が上がる。人手とお金がかかるが将来的に京都駅付近に投票所が増設できないか。

事務局：恒久的に場所を確保できる施設、委員会の対応、市役所とのサーバー専用回線等、課題が多くすぐに実現は難しい。

委員：今回選挙の予算と工夫した啓発内容について

事務局：22年の参院選と今回はほぼ同じ内容であるが、大学生を対象とした卓上ポップと割り箸を作成する。

委員：常時啓発について他の国がどんなことをしているのか。

委員：（アメリカ・カナダを例にし）住民基本台帳が整っていない、ガレージが投票所になるなど、根本的な部分で違う。啓発を行うという考えがなく、参考になる事例、役立つことはない。

選挙のお知らせ（はがき）の裏に期日前投票宣誓書を記載したのはなぜか。

事務局：投票にはがきを持っていく人が9割と定着しており、あらかじめ記入していただくことでスムーズに投票をしていただける。他都市でも行っている。投票所で住所等を書く煩わしさの不満もあった。

委員：どんどん親切になっているが、今後インターネット投票が行われるようになったら投票率は上がると思うが、それがよいのか。何を指すかわからなくなる。

委員：期日前投票が増え、区役所は大変になった。

○報告事項

（1）公職選挙法の改正（インターネット選挙運動の解禁・成年被後見人の選挙権等の回復）について

事務局：「インターネット選挙運動に関するチラシ」「未成年者の選挙運動禁止に関するチラシ」「選挙制度改正に関するチラシ」に基づいて説明。

委員：ネット選挙運動がはじまるので自身のホームページやブログに何も書かないようにしようと思ってしまう。

委員：ネット選挙運動の窓口は作らないのか。

事務局：リーフレット（タブロイド版）に区・市選挙管理委員会事務局の電話番号を掲載している。

委員：わからないことが多すぎる。今回は様子見。

市明推協として、問い合わせ等をまとめ、集計し、報告してもらって考えるのはどうか。

委員：未成年についての周知はどうなっているのか。

事務局：総務省から大学・高校に周知されている。

委員：メディアはどのような方針・扱いで方向性を議論されているのか。

委員：ベーシックなことをわかりやすく解説しようとしている。現在はわかりやすく伝えるための入り口のところである。

(2) 本年度事業（ポスター募集・論文募集）について

事務局：「明るい選挙をすすめるポスター募集に関するチラシ」「論文コンクール「わたしはこう考える」に関するチラシ」に基づき説明

(16:05終了)